

環 境 国際理解

地域文化 気候変動

生物多様性 防 災

エネルギー そ の 他

豊橋市立鷹丘小学校



創 立：1978年

住 所：〒440-0013 豊橋市西小鷹野町三丁目7-1

連絡先：TEL 0532-63-2633 FAX 0532-65-1205

学級数：28 児童数：760人

H P：http://www.toyohashi-c.ed.jp/takaoka-e/

みんな笑顔に、大好き鷹丘～共に生きる～

はじめに

様々な視点から「ふるさと鷹丘」をよりよい場所にしていくために考える学習「たかおか学習」。総合的な学習の時間や生活科を中心に自然、国際理解、障害などの面から鷹丘の現状を捉え、みんなが共生していくために様々な

実践を行ってきた。子供からお年寄り、様々な国にルーツを持つ人など、みんなが笑顔で暮らせる鷹丘校区にしていき、「ふるさと鷹丘」のために貢献しようとする気持ちを高められるようにしたいと考え、本主題を設定した。

実践内容①

「わたしたちの朝倉川」

ねらい：鷹丘校区にある朝倉川をきれいに保っていくために、できることを考え実践する。

子供たちは、朝倉川に行きたくさんの魚や昆虫がいることを知ったが、同時に川沿いにゴミが多いことにも気付いた。自分たちが住む鷹丘校区の生態系が危機的な状況にあることを知り、それらを守るために何ができるのかを話し合った。様々な活動の中から、ゴミのポイ捨てを未然に防ぐためのポスター制作と、生き物たちが朝倉川で住み



朝倉川でのゴミ拾いの様子

やすくするための清掃活動を行いたいと考えた。自分たちが大人になっても、他の人達がポスターを見て、朝倉川を大切にしていきたいという思いを持ってほしいと願い、ポスターを完成させた。清掃活動は、自分たちの手で鷹丘の自然を守りたいという強い気持ちを持って取り組んだ。子供たちは、時間いっぱい仲間と協力しながら清掃を続け、多くのゴミを拾うことができた。拾ってもなおゴミが残っている箇所もあったので、子供たち以外の人にも朝倉川をきれいにしていってほしいという願いを改めて持った。来年度以降は、地域の方にも自分たちと同じような意識を持って朝倉川を大切にもらうために看板を作ったり、直接呼びかけたりするなどの活動を実践していきたい。

成果

人も生き物も住みやすい鷹丘校区にしていきたいという思いを持つことができた。多くの人に現状を知ってもらえることで、一人一人の意識が変わっていき、鷹丘校区がきれいになっていく様子を見ることができた。来年度以降も引き続き行っていくことが大切。



実践内容②

「共に生きる～障害～」

ねらい：鷹丘校区で共生を進めていくために、
障害について考えたり、調べたりして理解を深める。

障害のある人との共生を進めていく上で、子供は、障害があることで、どのようなことが苦手で、どのようなことが得意なのかを理解していなかったので、まずはインターネットで調べたり、特別支援学級に在籍する児童にアンケートを取ったりした。調べながら理解を深めていく中で、自分たちにできることは何かという疑問を持ち、話し合いを進めた。そして一緒に遊ぶ計画を立てた。そこから、ただ一緒に活動するのではなく、相手の立場になって自分ができることを考える大切さに気付いた。

成果

共生を進めていくためには、まず相手のことを知ることが大切。自分たちが普通に行っていることも、障害があると大変なことが多いということを体感することができた。困っている人を見たら、すぐに助けたい。



様々な道具を使った障害者体験

実践内容③

「共に生きる～多文化共生～」

ねらい：鷹丘校区で外国人も笑顔で暮らせるようにするために、話を聞くことで理解を深める。

外国の人と共生をしていく上で、鷹丘校区に住む外国人がどのように感じているのか聞いてみたいと考えた。そこで、鷹丘校区在住で通訳として働いている方にお話を伺う機会を設定した。その方は小学校5年生で日本に初めて来て、日本語が全く分からない状態で生活することがとても大変であることを話してくださいました。先生の指示も分からなければ、友達とのコミュニケーションも上手く取れないことが苦痛だったと言っていた。しかし、言葉は分からないけれど積極的に話しかけてくれる友達の存在が心の支えになったと言っていた。講話を聞いて、子供たちは、自分たちの想像以上に言葉の壁が大きいことや、言葉が分からなくてもジェスチャーなどで積極的に関わることの大切さを学んだ。



校区内に住む外国籍の方の講話

成果

自分から積極的に話をかけていくことが大切である。その子にとっての心の支えになれるようにしていきたい。そうしていくために、外国籍の人達がどのようなことで困っているのかを知り、他の人にも知ってもらえるようにポスターなどで広げていきたい。

おわりに

今回の実践では鷹丘校区の特色を生かし、自然や人を大切に、みんなが笑顔で暮らしていく工夫を一人一人が考えた。今後の鷹丘校区のために大切にしていきたいと考えたことを2つ挙げたい。

①相手のことを知り、自分たちが知ったことを周りの人達

にも広げていくこと。

②これからも一人一人が「ふるさと鷹丘」のためにできることを考え実行していくこと。

これらを踏まえ、みんなが住み続けられるまちづくりに動んでいきたい。

